

アジア学叢書

既刊 367 巻 より

再掲

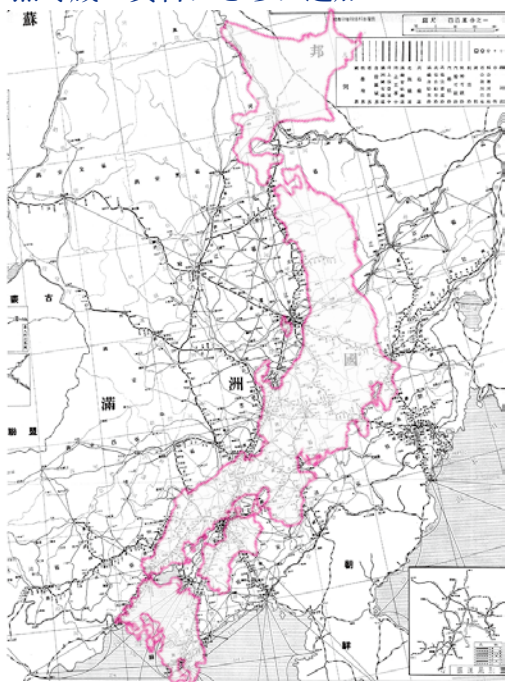
第51回配本「満洲Ⅰ編」 全5巻(第354～358巻) * 2022年4月刊

第52回配本「鮮満編」 全4巻(第359～362巻) * 2022年8月刊

第53回配本「満洲Ⅱ編」 全5巻(第363～367巻) * 2023年9月刊

アジア学叢書は1996年以来30年、アジアに関するさまざまなテーマの貴重資料を《復刻》してきましたが、近年、周知のごとく、国立国会図書館をはじめ多数の研究機関・図書館が所蔵資料の〈デジタル化&公開〉を強力に推進しており、本叢書収録の資料もかなりのものがネット上で自由に閲覧できるようになっています。しかし…

“満洲”建国から消滅
同時期朝鮮と日本
無尽蔵の資料にさらに追加



「満洲交通図」第354巻・満洲事典より
北海道～九州を重ねて面積比較

第51・52・53回配本は、収録する資料の
「復刻原本は国立国会図書館に
所蔵されていないものばかり」
です。本叢書でしか見られません。

ぜひお揃えください。



「満洲農業移民入植図」
第355巻・満洲移住生活より



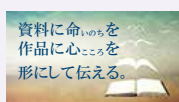
「南鮮地方略図」
第360巻・鮮満地方より

※「アジア学叢書」次回刊行は準備中です。
詳細決まりしだい発表します。

「アジア学叢書」 最新在庫目録 2026.10

*残部数冊 多数

CLICK!!



学術資料出版

大空社出版

www.ozorasha.co.jp

2026.10

354. 満洲事典 千田万三編著 A5判・上製・430頁 978-4-86688-354-0 本体 23,700円

[復刻原本: 満鉄社員会、1939・昭和14年刊] 満洲の情報満載。(内容) 満洲帝国国歌、約400項目(大小項目合計、ABC順配列)、統計表多数・組織図・地図等収載。 図4点 / 満洲交通図(特大折込) 1点

355. 満洲移住生活 三浦悦郎/拓務省拓務局/牛久昇治編著〔3点合本〕 A5判・上製・450頁 978-4-86688-355-7 本体 24,000円

「移住」を検討する人々に向けた満洲理解のための3資料。 写真・図30点 / 「満洲農業移民入植図(折込)」2点

- ① [復刻原本: 三浦悦郎編『満洲移住読本』改造社、1939・昭和14年刊] (本文138頁) 序文: 八田嘉明 (内容) 大陸新日本 試験移民論 新計画の全貌 移民団の構成 自由移民 政府の助成 移植民機関 青少年義勇軍。
- ② [復刻原本: 拓務省拓務局編『満洲青年移民の栞』拓務省拓務局、1938・昭和13年刊] (本文30頁) (内容) 青年移民の趣旨・沿革 新計画の全貌 応募の手続 内地・現地訓練所 兵役関係の他。
- ③ [復刻原本: 牛久昇治『満洲に適する健康生活』大阪屋号書店、1940・昭和15年刊初版(底本は昭和17年刊四版)] (本文227頁) 序: 高野六郎・守中清 現地で衛生についての具体的注意に満ちた希書。(内容) 満洲には満洲の生活 気候衣食住 伝染病・病気を媒介する鼠と昆虫・結核。

356. 満洲国事情 満洲事情案内所/東亜旅行社/日滿実業協会編著〔3点合本〕 A5判・上製・400頁 978-4-86688-356-4 本体 21,000円

満洲国の国となり概観し、都市・名所をくまなく巡る案内を合わせる。 写真・図51点

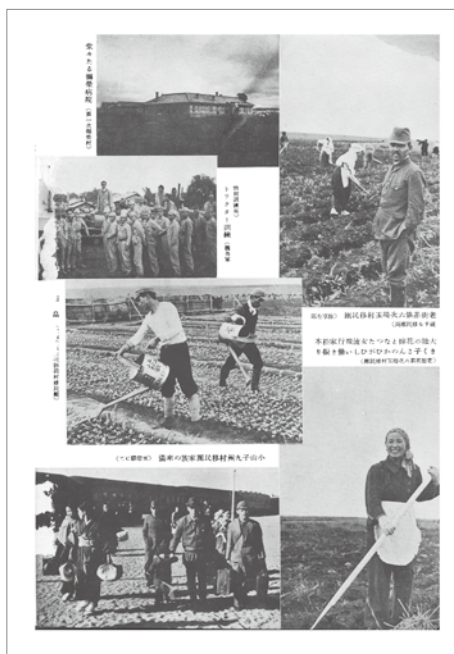
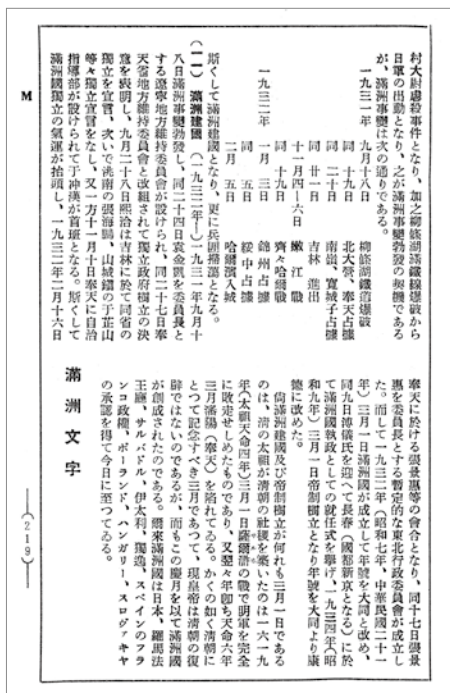
- ① [復刻原本: 満洲事情案内所編『満洲国勢』(満洲事情案内所報告74) 満洲事情案内所、1940・昭和15年刊] (本文150頁) (内容) 地理 産業 貿易 鉱業 金融 交通 通信 労働。
- ② [復刻原本: 東亜旅行社編『満洲』(東亜旅行叢書第28輯) 東亜旅行社、1943・昭和18年刊] (本文124頁、写真16頁) 各地の史蹟・名勝・伝説・行事・名産を簡明・精確に記す好旅行案内(日程・費用概算含む)。
- ③ [復刻原本: 日滿実業協会編『満洲の採金に就て』日滿実業協会、1935・昭和10年刊] (本文88頁) 主要産業「採金」の実情。

357. 満洲建国の人々 鷺尾雨工著 A5判・上製・390頁 978-4-86688-357-1 本体 19,800円

[復刻原本: 潮文閣、1944・昭和19年刊] 著者(本名=鷺尾浩)は大衆文学作家(1892～1951)、新潟出身。西脇順三郎と親交、早大英文科で直木三十五、西条八十、坪田譲治らと同期、『吉野朝太平記』で直木賞受賞。「満洲建国のことは最早厳然たる歴史的事実である。にもかかわらず、それを歴史的事実として取扱うには余りにもなまなましいのだ。…であるからこそ「満洲建国の人々」は、我等国民の情熱をきわめて熾烈に鼓舞し…」(序より) 実証的歴史小説と言われた著者の「建国史」は…当代一般の認識を代表するの…。(内容) 駒井出盧以前、排日侮日、事変勃発、東京の空気、溥儀氏の天津脱出、日ソ兵形の変化、奉天省に新政権立つ、上海の青幫、建国。

358. 簡易 満洲案内記 昭和十三年版 付「別冊折込図表」 南満洲鉄道編 A5判・上製・160頁 978-4-86688-358-8 本体 12,500円

[復刻原本: 南満洲鉄道、1938・昭和13年刊] 満洲全体に分布する鉄道に沿い、旅行上に必要な事項を盛りながら、観光地・景勝地・都市を見学する順路を記載し実用的に構成。小型ながら簡明確な記述。15点の折込(満洲主要都市) 地図類は閲読しやすいよう[別冊]としてまとめた。(内容) ①満洲旅行の諸注意(12頁) ②案内記(98頁) ③地図[別冊]: 満洲鉄道図、市街図(大連、奉天、新京、哈爾濱、旅順、安東、承德、齊齊哈爾、吉林)、平面図(満洲資源館、工業博物館、奉天国立博物館、大陸科学院博物館、旅順博物館)、撫順炭鉱附近図。





359. 朝鮮満洲 支那のぞ記 小野賢一郎著 A5判・上製・330頁 978-4-86688-359-5 本体 19,000円

[復刻原本:東京刊行社・大阪屋号書店、1922・大正11年刊] **写真・図20点** 著者(1888～1943)はジャーナリスト(朝鮮新報・朝鮮タイムス記者、東京日日新聞社会部長、日本放送協会文芸・企画部長・理事)、俳人(俳号・小野燕子、日本俳句作家協会常任理事)、陶芸研究・評論家(編著『陶器大辞典』『陶器全集』)。10数年ぶり再訪した初任の地・朝鮮を経て中国へ。欧米旅行記『世界のぞ記』(1919)に続く自由闊達な筆致による旅日記。跋:村上鬼城・瀧閑村

360. 鮮満地方 大喜多筆一／平野博三／朝鮮総督府鉄道局編著〔3点合本〕 A5判・上製・490頁 978-4-86688-360-1 本体 27,000円

国策団体・鮮満協会理事、大手旅行社大連支部代表等、朝鮮の実情を知るプロが現地人とそこに生きる日本人の姿を伝える。

- ① [復刻原本:大喜多筆一編著『新朝鮮』鮮満協会、1928・昭和3年刊] (本文130頁、**写真48点**) 著者は鮮満協会専務理事「朝鮮開発の事蹟を最もわかり易く一目の下に展開し以つて深くその損失を研究せしめ…現下朝鮮に対する世人の眠むれる興味と研究心とを警醒喚起して新朝鮮の現状を解するの筈蹄となり…」(自序)。
- ② [復刻原本:平野博三著『鮮満の車窓から』大阪屋号書店、1924・大正13年刊] (本文293頁、**写真15点**) 著者はジャパン・ツーリスト・ビューロー大連支部代表「南満で現在同胞がどんな風に生活してゐるか位の知識は、本書を通じて得て欲しい…実際に朝鮮や満洲を旅して来たやうな顔をして呉れてもいい…」(序に代へて)、巻末に旅のガイド「南満主要都市案内」。
- ③ [復刻原本:朝鮮総督府鉄道局編『南鮮地方 昭和十四年版』朝鮮総督府鉄道局、1939・昭和14年刊] (本文22頁、**写真18点、折込「慶州及附近略図」**) 慶尚南道・北道地方の旅行ガイド小冊子。

361. 朝鮮の経済 鮮満研究協会／京城商工会議所編〔2点合本〕 A5判・上製・570頁 978-4-86688-361-8 本体 28,000円

統治後朝鮮の急速に膨張する商業・金融、主産業の発達の様を詳説。各種統計・数値データ多載。

- ① [復刻原本:鮮満研究協会編刊『朝鮮 各都邑の経済』、1926・大正15年刊] (本文459頁) 「一般産業開拓者の手引たり羅針盤たらんとし本書を編纂せるもので…20万円以上の商取引を有する朝鮮90余箇所の経済状況、預金その他の経済関係を摘記する」(第七章緒論)
- ② [復刻原本:京城商工会議所編刊『朝鮮産業経済便覧 昭和十四年版』、1939・昭和14年刊] (本文80頁) 「朝鮮に関する…一覽して能くその要領を捉へ得る記述…を作り、普く世に頒布する」(序) (内容) 最近20年間に於ける朝鮮産業経済の推移 各官民当局者(総督府官僚・銀行頭取ら6名)の昭和14年々頭所見集

362. 鮮満を視る 東京市教員会／東京府青年指導者視察団／福岡県教育会鮮満視察団編〔3点合本〕 A5判・上製・360頁 978-4-86688-362-5 本体 20,000円

〈教育〉関係者「視察」団は、何を見て、得て持ち帰ったのか、その目的は? 小冊だが看過できない稀少資料をまとめる。

- ① [復刻原本:東京市教員会編『鮮満旅行記』標準教科書出版協会、1935・昭和10年刊] (本文219頁、**写真・図67点**) 「この旅行記は、教師の見たる新国家満洲国であり、朝鮮である」(序) 期間:昭和7年9月16日(満洲国承認翌日)～10月9日/訪問地:大連～旅順～鞍山～新京～吉林～ハルビン～長春～公主嶺～奉天～旅順～安東～平壤～京城～仁川～釜山
- ② [復刻原本:東京府青年指導者視察団編刊『鮮満北支瞥見記』、1939・昭和14年刊] (本文52頁) 「一部分を一瞥したに過ぎない。…純なる感激に燃えて視た初見の眼は、驚異も強く、印象も深きが故に、大陸通の感じ得ざる感応をうけてゐるかも知れない」(後記) 期間:昭和14年2月21日～3月13日/訪問地:京城～奉天～撫順～北京～天津～大連～旅順
- ③ [復刻原本:福岡県教育会鮮満視察団編刊『福岡県鮮満教育視察記録』、1939・昭和14年刊] (本文36頁) ガリ版刷りの小冊子「…この感激は必ずや25名の教育者の口から幾万の生徒の血に肉に沁み渡るであらう」(結び) 期間:昭和13年9月15日～10月3日/訪問地:釜山～京城～平壤～安東～奉天～撫順～新京～哈爾濱～大連～旅順～大連



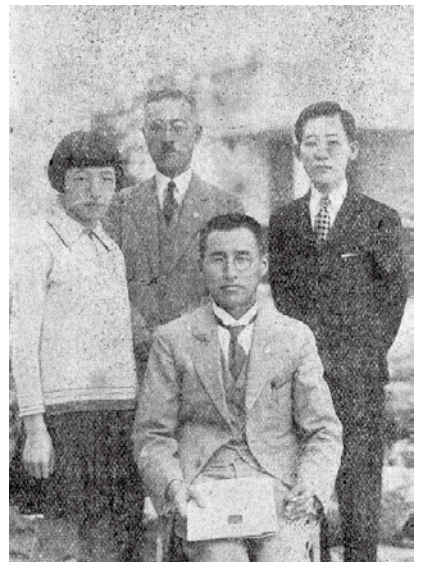
張作霖(奉天私邸にて)

第359巻より



大邱市場

第360巻より



川島芳子(右端)

第362巻より



363. 満洲事変秘史 津田元徳著 A5判・上製・880頁 978-4-86688-363-2 本体40,000円

[復刻原本:満洲文化協会、1934・昭和9年刊。口絵写真5葉(満洲国皇帝・皇后陛下、肅忠親王、著者ほか)、写真・資料図版多数] 著者(1871～1962)は東京高等師範卒、福島・山形的女子師範校長など教育界で活躍、また旅順博物館長を勤めた。事変の経過を国内外の報道や法令を追いながら関係重要人物の紹介を豊富に盛り込む。自身が肌身で取得した異色の〈総合的事変史〉。「40年間師範教育に一貫従事し、内20年間支那欧米を正視巡遊し、刻下の世相と世界の大勢とに鑑み満洲事変に於ける史実を叙して、我が日本帝国は素より、満洲帝国、中華民国を主とせる世界列国将来の為に、鍊想熱血を注ぎたる」(跋)大冊。

364. 建国前後 三宅光治著 A5判・上製・300頁 978-4-86688-364-9 本体16,500円

[復刻原本:満洲新聞社、1944・昭和19年刊] 著者(1881～1945)は日露戦争で満洲軍副官、第一次大戦後の平和条約実施委員などを経て、1928年関東軍参謀長となり満洲事変に対応、1932年中将、1940・昭和15年～終戦まで満洲国協和会中央本部長、終戦後シベリア抑留中に死去。「この一書によって明治二十七八年、かの日清役に初まる東亜黎明の偉大なる歴史的動き、そして大東亜戦下に蔽として私達の目の前に躍動する大東亜の軸心満洲帝国の存在意義を、少しでも酌み摂って貰えたならば私の本懐とするところである」(はしがき)。日清・日露戦争の従軍経験から満洲国の国策運動の中心的組織・協和会の活動と、時代の空気を伝える証言録。

365. 建設者の息吹 田村敏雄著 A5判・上製・380頁 978-4-86688-365-6 本体18,800円

[復刻原本:新京日日新聞社出版部、1940・昭和15年刊。口絵著者肖像写真] 著者(1903～1963)は満洲国財政部文書科長・人事科長、民生部教育司長を勤めた。「われわれは、何を、どう考えるか。いうまでもなく、この現代を、この環境を、すなわち、満洲建国という、日本国体一超民族的な、人類生活の基本的再考方式一の顕現であり、大陸の発展である、歴史的偉業のまっただなかにおいて、生き、考えるのである。(…)いくらかでもわれらの歴史的偉業、新時代的生きかたについてさらに考えていただくことにでもなれば、まことに、しあわせである」(序)。一国民・一民衆の生活日記をつづる形で、社会・時代の空気を受け止め、率直な心情を吐露する(1940年冬に新聞連載の随筆)。全98章。

366. 満洲牧場記 関屋牧著 A5判・上製・350頁 978-4-86688-366-2 本体18,000円

[復刻原本:奉天大阪屋書店、1943・昭和18年刊] 著者は1914・大正3年東京都生れ。昭和10年東京農業大学卒、13年鐘紡入社(農務課)、興安牧場、啓明農業の他数ヶ所の農場創設の企画をなしその後開戦中の北支中支の農村文化事業の企画創設に当る。昭和17年10月より鐘紡江北公司農務部調査課長。満洲における大牧場の生態(立案から運営まで)を具体的に記録した稀な書。馬の興安牧場、羊の王府牧場の昭和15年の実情を、物語風に「郷土的な匂いと自然科学的な観察を織り込み」語り臨場感あふれる。写真30点弱

367. 満蒙を正視して 西内精四郎編 / 鮮満の旅 大場運次著 [2点合本] A5判・上製・290頁 978-4-86688-367-0 本体16,700円

「満蒙と朝鮮」には教育界が教育(学生と教員自身)のために「知るべき、迫るべき、理解すべき地」として、各地から視察隊を組織し訪れた。満洲事変勃発から満洲国建国をはさみ日米開戦直前の10年で実施された団体旅誌2編を収める。

- ①[復刻原本:大連中等学校満蒙研究会『満蒙を正視して』、1931・昭和6年12月刊](本文124頁・口絵写真2葉・折込大地図:満洲鉄道概見図)
- ②[復刻原本:大場運次『鮮満の旅』、1941・昭和16年7月刊](本文127頁・口絵写真6葉) 東京市聯合青年団皇紀二千六百年記念事業として「青年を鮮満自然の環境に接せしめ人文の現況を視察し兼ねて満洲国協和青少年運動の実際を見学し、之と交歓し併せて新東亜建設の大業に協力邁進しつつある満洲帝国に対する認識を深むる」目的で実施された記録。



天津時代の宣統帝と皇后、
ジョンストン夫妻



満洲国国歌

